

2019-2020 シーズン

フィギュアスケート国際競技会派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。

1. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル3枠、ペア・アイスダンス各1枠)

(1) 男女シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して1名選考する。
 - A) 全日本選手権大会2、3位
 - B) ISUグランプリファイナル出場者上位2名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
- ③以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①②で選考された選手を含め3名に達するまで選考する。
 - A) ②のA)からC)に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす者から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会優勝組
- B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3組
- C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3組
- D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3組

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

2. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(男子女子シングル、ペア・アイスダンス 各3枠)

(1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会 10 位以内
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 6 名
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 6 名
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 6 名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。ただし、過去に世界選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たすことを条件とする。

(ただし、フィギュア委員会指定の競技大会において得ることを要する)

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

3. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男女シングル各2枠、ペア・アイスダンス各1枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権大会時に開催される選考委員会にて決定される。

(1) 男女シングル

- ①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め2名に達するまで選考する。
 - A) 全日本ジュニア選手権大会 2 位、3 位の選手
 - B) ISU ジュニアグランプリファイナル出場者
 - C) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 3 名
 - E) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。ただし、過去に世界ジュニア選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会にて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

(2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し、総合的に判断して選考する。

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たすことを条件とする。

(ただし、フィギュア委員会指定の競技大会において得ることを要する)

※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。

4. ISU ジュニアグランプリシリーズ

(ISU より提示された出場枠による)

男女シングル・ペア・アイスダンス

6月に開催する派遣選手選考会における、選考会課題・演技・国際競技力を総合的に考慮して選考する。

5. 第3回ユースオリンピック冬季競技大会

(男女シングル各1名)

全日本ジュニア選手権終了時に、対象選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

①6月に行われる第1次選考会(2019JGP派遣選考会)を通過した選手

②第1次選考会を通過した選手の中で2019年ジュニアグランプリの総合得点上位4名

③第1次選考会を通過した選手の中で全日本ジュニア選手権上位4名

6. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1枠)

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たすことを条件とする。

(ただし、フィギュア委員会指定の競技大会において得ることを要する)

7. 世界ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1枠)

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

フィギュア委員会が定める派遣基準点を満たすことを条件とする。

(ただし、フィギュア委員会指定の競技大会において得ることを要する)

8. その他の国際競技会派遣

- ノービス国際競技会については、全日本ノービス選手権大会の上位選手を選考対象とする。有望新人発掘合宿で選考する場合もある。
- 国際競技会については、事前に調査した上で、強化方針に従って選考する。なお別途選考会を開催する場合もある。

- 各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。
- 『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- 補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ISU が出場のためのミニマムポイントを設定している競技会派遣選考に際し、最終選考会時点で当該競技会のミニマムポイントを持っていない選手・カップルは、ISU の定める獲得期限日までにミニマムポイント獲得を条件として選考することがある。
- 当該国際競技会に派遣するにあたって、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、派遣枠があった場合においても派遣しない場合がある。
- フィギュア委員会が定める派遣基準点、および派遣基準点獲得可能な指定競技会は、ペア・アイスダンスは東西日本選手権大会前、シンクロは全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会前迄に提示する。